

| | | |
|------|------|---|
| 2025 | 日 | 本 |
| 産 | 第60回 | 業 |
| 広 | 告 | 賞 |

参加要項





第60回 日本産業広告賞のご案内

日本産業広告賞は日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施しているものです。

60回目に当たります今回の日本産業広告賞も本賞制定の目的達成に向けて更に前進するため、新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の参加作品を広く募ることにいたしました。

時代のスピードに対応しつつも、時として厳しい経済環境に直面している産業界で、企業理念の発露として、またマーケティング活動の一環として、産業広告がその役割を十分に発揮する必要性が高まっております。

奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

第60回 日本産業広告賞

《新聞部門》

〔日刊工業新聞〕

日刊工業新聞広告大賞

本社賞／楯、海外研修招待

- 第1部—————第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金30万円、海外研修招待
第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待
第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金10万円、海外研修招待
佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー
- 第2部—————第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金25万円、海外研修招待
第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金15万円、海外研修招待
第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金 8万円、海外研修招待
佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー
- シリーズ広告賞—————第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金30万円、海外研修招待
第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待
第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金10万円、海外研修招待
佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー
※特別賞に該当する場合(若干点)本社賞／賞状・記念品

《雑誌部門》

第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金15万円

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円

佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞/賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞/賞状・記念品

《情報誌部門》

第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金15万円

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円

佳作(2点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞/賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞/賞状・記念品

新聞部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で新聞部門は日刊工業新聞(全国版)への掲載をもって参加資格といたします。
なお応募点数についても制限はありません。

■**審査対象**—————〔日刊工業新聞〕
《日刊工業新聞広告大賞》新聞部門の第1部、第2部、シリーズ
広告賞の第1席入席作品を対象とする。
《第1部》スペース15段以上を対象とする。
《第2部》スペース2.5段以上15段未満を対象とする。
《シリーズ広告賞》スペース制限なしで、3点以上を対象とする。

■**掲載期間**—————2024年9月23日(月)～2025年9月19日(金)

■**入賞発表**—————2025年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。
●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。
●カラー作品については、掲載日の調整をお願いすることがあります。
※同一図案の複数の部門に応募することは認めません。
※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

雑誌部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の月刊誌5誌に掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。

なお応募点数についても制限はありません。

■**掲載雑誌**—————プレス技術・機械設計・機械技術・型技術・工場管理

■**審査対象**—————1頁以上(表紙・挿込みを含む)。

■**掲載月号**—————2024年10月号～2025年9月号

■**入賞発表**—————2025年11月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●5誌の同月号に同じ作品を2誌以上掲載する場合は、発行日の早い雑誌のものを参加作品とします。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●カラー(4色)広告のポジ合成は2点以内。

●広告原稿は、データ入稿を原則とします。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

情報誌部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の「新製品情報」誌への掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。なお応募点数についても制限はありません。

■**審査対象**—————4/4頁以上(表紙・挿込みを含む)。

■**掲載月号**—————2024年10月号～2025年9月号

■**入賞発表**—————2025年11月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●広告原稿は弊社の仕様書に沿って完全データで入稿して下さい。出力見本を必ず2枚添付して下さい。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

審査委員／表彰式

審査委員長
早稲田大学 商学学術院教授
嶋村和恵

東京コピーライターズクラブ会長
谷山雅計

専修大学 経営学部教授
石崎徹

青山学院大学 経営学部教授
芳賀康浩

東京工芸大学 名誉教授
福島治

日本工作機械工業会 専務理事
柚原一夫

日本産業機械工業会 代表理事・専務理事
秋庭英人

一般社団法人日本電機工業会
専務理事
中嶋哲也

旭化成株式会社 広報部長
坂元善洋

NEC
マーケティングビジネスパートナー統括部
統括部長

戸田淳

キャンノンマーケティングジャパン株式会社
ブランドコミュニケーション本部
メディア戦略部 部長

北島由美子

株式会社クボタ
KESG推進部 担当部長
廣瀬文栄

コマツ
ブランド戦略事業部 部長
木村幸

株式会社スギノマシン
代表取締役副社長
杉野岳

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社
コーポレート・コミュニケーションセンター所長
深尾祐紀子

日立建機株式会社
理事 ブランド・コミュニケーション本部長
久保達哉

富士フイルム ビジネスイノベーション株式会社
宣伝部 部長
朝倉孝幸

富士通株式会社
グローバルマーケティング本部 コーポレートマーケティング統括部
ブランド戦略部メディアエキスパート
白石陽太郎

エフサステクノロジーズ株式会社
サポート部門 業務推進統括部
シニアディレクター

出口拓夫

三木プリー株式会社
代表取締役社長 グループCEO
三木康治

三菱電機株式会社
宣伝部 新規プロジェクト担当部長
桑畑一浩

株式会社安川電機
取締役 上席執行役員
東京支社長
森川泰彦

日刊工業新聞社
小原敏永

日刊工業新聞社
拝原泰介

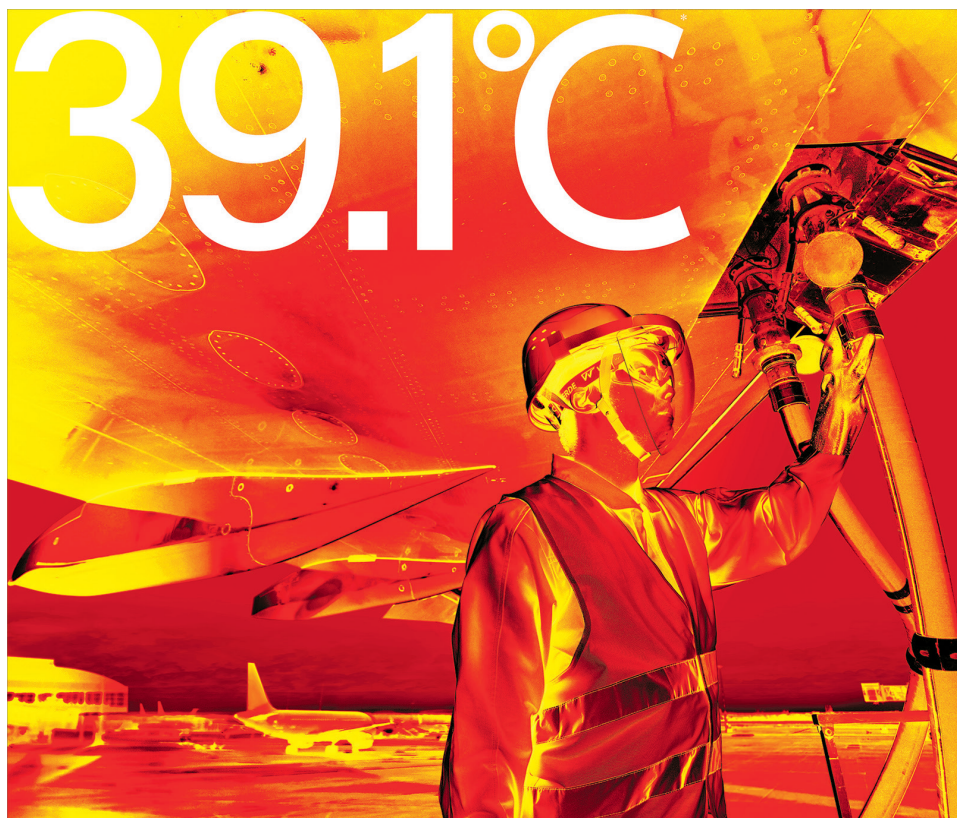
日刊工業新聞社
宇田川勝隆

(順不同 敬称略)

- 審査**———上記審査委員による「日本産業広告賞審査委員会」で厳正に行われます。産業広告としての明確なコンセプト、訴求力、アイデア、デザイン、コピーを勘案して総合的に審査します。
- 表彰式**———2025年11月中旬、東京都内のホテルにて新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の関係者の出席により、第60回日本産業広告賞の表彰式を執り行います。
- その他**———●本賞の詳細について、また応募にあたってのお問い合わせは本社、支社の係までご連絡ください。

前回の受賞作品

《新聞部門》



※2023年に東京都で計測された最高気温(7/12) 新聞画はイメージです

暑さの話ではない。命の話だ。

空港、化学プラントなどにおける防熱エリアでは、ファン付き作業服をはじめとするバッテリー駆動による電子機器の使用が規制されている。エリア内に存在する可燃性ガスなどが、火災などの大事故につながる可能性があるからだ。ただ、温暖化が進むなか防熱エリアで働く人々は、猛暑に伴う「暑さ」のリスクに苛まれていた。そんな現場の声を聞き、ミドリ安全は国内初の防熱エリア対応ファン付き作業服「クールファンEP」を開発。産業安全技術協会にて防熱検定を取得した。(型式検定合格番号 第TC22904号) 危険と暑さが隣り合わせの防熱エリアで働く人々の、安全と涼しさを叶えた新しい作業服だ。ミドリ安全は、現場を見て、声を聞いて、高品質で革新的な製品を作り続ける。この世界のすべての作業者の命を守るために。

防熱エリアで働く皆さん、今のままでこの夏乗り切れますか？



COOL FAN EP

防熱構造 Ex ib IIA T3 Gb

<https://midori-uniform.jp/coolfan/>

安全に
イノベーションを



第1部 第1席 全15段

日刊工業新聞広告大賞

《雑誌 部門》



貼るか!

屋内用遮熱シート 不燃証品
はるクール
(炭化繊維タイプ/フラットタイプ)





貼らないか!

天井に貼るだけで、
温度は下がり、作業効率は上がる!

文化シヤッターの屋内用遮熱シート「はるクール」は、天井に貼るだけで暑熱をカットして、建物内の温度上昇を抑えます。そのため、建物や作業者のダメージを軽減し、作業員の熱中症の予防に効果を実証します。

文化シヤッター
 〒112-8505 東京都文京区関目1丁目17-3
 ☎0570-666-670
<https://www.shyatter.com.jp>

第1席 2頁

《情報誌 部門》

YASKAWA **i²-Mechatronics**

「アリス、次は最先端のものづくりを見に行こう!」
 時計を持った白ウサギに誘われ、アリスは不思議な生産ラインに迷い込んだ。
 壁にはなにやら説明書きがあり、
 「この工場では機械の稼働状況をデータとして収集し...
 あら、「生産状況の見える化」ってことなら、最近はこの工場でもやっているわ」
 「はははっ! 機械の動きや完成品の質・量だけを見ていてもいいけど、
 それがいつの情報で、時間によってどう変化しているのか、
 時間軸に沿ったデータがないと、次の改善には何も活かせないよ」
 白ウサギは時計をふりかざして、工場いっぴりに聞こえるくらいの大声で叫んだ。

「時間を見ていないのなら、
 何も見えていないのと同じさ!」

生産設備から採れるデータを、空間領域で秒間に分割して
 いちかを分析・集約、必要に応じてモーションとしてリアル
 タイムに可視化し、生産現場に「わかる」データを提供し
 ています。これにより、設備異常検知や品質の安定化、
 さまざまな生産、つまり「モノの生産自動化」を実現します。
 各型ソフトウェア/ソフトウェア/Mechatronics/イ
 キューブ/メカトロニクス)を統合するコントローラ(YRM
 1010)に加えて、マシンコントローラ(MPK1310)、AG
 制御ソフトウェア/データ連携を実現するシステムを
 をそえており、課題解決だけでなく、皆さまの課題を解決
 し、強固にサポートし、価値を提供してまいります。

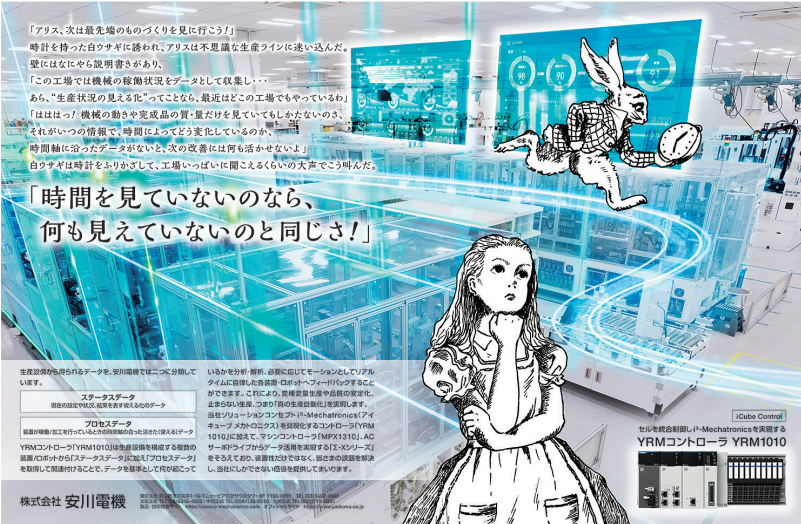
スターデータ
稼働の稼働状況、結果をリアルタイムで取得するデータ

プロセスデータ
生産設備加工工程から生成される生産設備の稼働データ

YRMコントローラ(YRM1010)は生産設備を統合する制御系
 稼働/制御ソフトウェア/システム(プロセスデータ)
 を取得して関係付けすることで、データを基盤として稼働させて

株式会社 安川電機

セル統合制御(i²-Mechatronics)を実現する
YRMコントローラ YRM1010



第1席 8/4頁

《協賛経済・産業団体》

(予定・50音順)

日本アルミニウム協会
日本機械工業連合会
日本経済団体連合会
日本工作機械工業会
日本産業機械工業会
日本自動車工業会
日本商工会議所
日本生産性本部
日本鍛圧機械工業会
日本鉄鋼連盟
日本電気協会
日本電機工業会
日本BtoB広告協会
日本フルードパワー工業会
発明推進協会



本社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7310(直通)
東日本支社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7266(直通)
西日本支社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16 ☎06(6946)3351(直通)
名古屋支社 〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28 ☎052(931)6155(直通)
西部支社 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1 ☎092(271)5716(直通)

<https://www.nikkan.co.jp>